



文部科学省『大学による地方創生人材教育プログラム構築事業』

地域基幹産業を再定義・創新する人材創出プログラム「ENGINE」

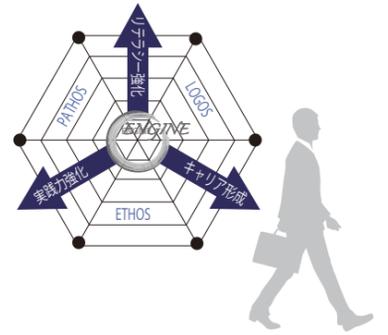
時代の急激な変化に対しては、地域社会や経済は常に脆弱であり取り残される状況下にあります。また、人口増をベースに将来の社会システムを描いてきた現状に対して、いま我々が直面している人口減の社会をどのように描いていくのか、非常に複雑な問題をマネジメントし、課題を包含しながらスペキュラティブに未来社会を見据えていく必要があります。

これまでの「交通」「食」「観光」「インフラストラクチャー」などの地域を支えてきた基幹産業を、新しいミカタや『連繫』で再定義し、次代の基幹産業へと『創新』に導ける人材を育成することで、魅力ある地域社会へと、現状を『突破』していきます。

3つの力

1. データ・オリエンテッド&ハート・ドリブン型地域マネジメント力
2. 時代の変化をしなやかに捉え社会に関わり続ける力
3. 未来社会を見据えた創造性溢れる突破力

ENGINEプログラムでは、地域・人を中心とする「データ・オリエンテッド」な思考力と、「ハート・ドリブン」な連携力・突破力を、次代を創出する人材に必要なコア・リテラシーに位置づけ、その上で、変化への対応力・突破力の在るトップ・リーダー人材を育成をめざします。このために、産・学・官・金・言・民で『円陣 -ENGINE-』を組み、人材輩出のための産学連携教育プログラムを開発・実施します。



3つの連繫

1. 未来に向けたリソースの共有

- ー 高速鉄道/道路網が適度に発達し首都圏とも適度な距離関係から、単一県内にとられない、かつ、首都圏をとり込む思考を設定することで、集積化の概念を打破する。



2. 世界に通用する地域資源

- ー 文化・歴史・食などの豊かな地域資源があり、地方創生の原動力である「移動」「交流」を生み出す。これからの地方創生にむけ、多様性を享受し発展する「文化」「伝統」へと、新たな連繫により創新していく。



3. 現状を突破するために必要な「知」の集結

- ー 新しいミカタで連携を創出し地域に貢献していく信州大学
- ー データを駆使することで未来を洞察する富山大学
- ー 多様な文化や価値観と共にグローバルに生き抜くマインドを醸成する金沢大学



3フェーズからなるENGINE教育プログラム

地域の「産」と「学」が連携し、持続可能な地域社会形成に向けた、これからの「産学連携教育」を実現

ENGINEサーティフィケートの発行

3大学(信州・富山・金沢)学長連名でのプログラム修了認定証を発行

実践力強化フェーズ

- 企業課題解決型インターンシッププログラムを各地域企業と連携して実施
- ー 企業目線での評価も取り入れることで、将来に必要な能力を知り修得を目指す。



リテラシー強化フェーズやキャリア形成フェーズで養った力に専門的知識をプラスして、目の前の地域課題や企業課題を題材に、様々な業種の企業と連携しながら課題解決を目指したプログラムを実践します。データサイエンス力などを活用し課題解決に向けた戦略的な思考をフルに活用・実践します。

キャリア形成フェーズ

- 地域企業で働く意義など、企業と学生の好循環のためのキャリア形成を図る。
- ー キャリア形成イベント「しごとーく」なども含め、社会に関わり続ける力を身に付ける。

リテラシー強化フェーズ

- データサイエンスなど、地域が求める人材のための素養を修得する。
- ー グローバルな視点で地域全体を見つめ、潜在的な価値を発見するミカタを身に付ける。

連外
携部

100年企業創出プログラム
(リカレント教育プログラム)

地方創生の駆動力「ENGINE」により
地域産業の創新・再定義
& 人・財の好循環を生み出す

若者の地域定着へ

3地域で展開するキャリアプラットフォーム形成

大しごとーく

自身が成長するための「問い」を深化させ、新たな連繫創出へ

「大しごとーく」では、早い段階から企業・社会人の方々との接点を持つ機会を、将来ビジョンを具体的に描き学びの動機を高めることに繋がると考えています。大しごとーくで出会った企業とより深く話し、インターンシップや地域・企業課題の解決策を考えるPBLや実践型インターンシップ・プログラムに繋げる「ネクスト・アクション」の機会として設定しています。

